

# かながわ京浜臨海部ニュース 平成30年 11月号



## 今号のINDEX

- 横浜市「京浜臨海部再編整備マスタープラン」の改定について ..... p1
- かながわの京浜臨海部～県内工業・理数系高校生体験・交流会～について ..... p3
- 京浜臨海部で“ものづくり”を100年続けている工場を見学しよう  
「キリンビール」×「JFEエンジニアリング」大人の工場見学会について ..... p6
- 京浜工業地帯の父 浅野孫一郎の銅像をめぐる 第2弾 ..... p7
- 浅野学園の史料室について ..... p8
- 臨海コンビナート都市連携シンポジウム2018「スマートコンビナートを目指して」について ..... p8



## 横浜市「京浜臨海部再編整備マスタープラン」の改定について

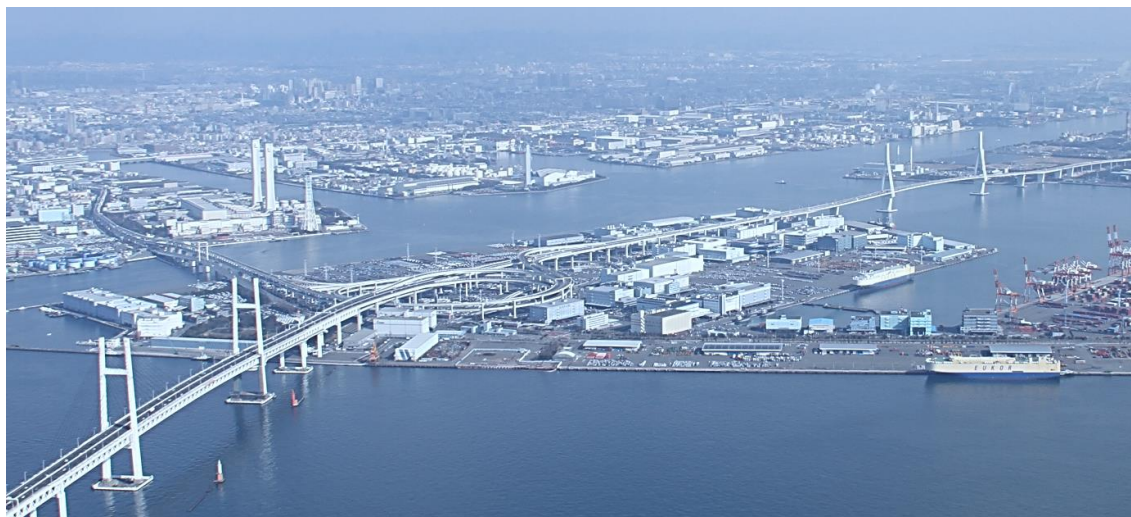
横浜市では、京浜臨海部における生産機能の海外移転による産業の空洞化等に対応するため、平成9年に策定した「京浜臨海部再編整備マスタープラン」について、「横浜市京浜臨海部再編整備マスタープラン改定審議会」を設置し、プランの見直しに向けた議論を行ってきました。

このたび、審議会からの答申を受け、平成30年9月、「京浜臨海部再編整備マスタープラン」を改定しました。

今後は、このプランに基づいて、地元企業の皆様とも連携しながら、京浜臨海部のポテンシャルを活かし、更なる発展に向けたまちづくりを推進していきます。

KEIHIN  
京浜臨海部再編整備  
マスタープラン

平成30年9月  
横浜市



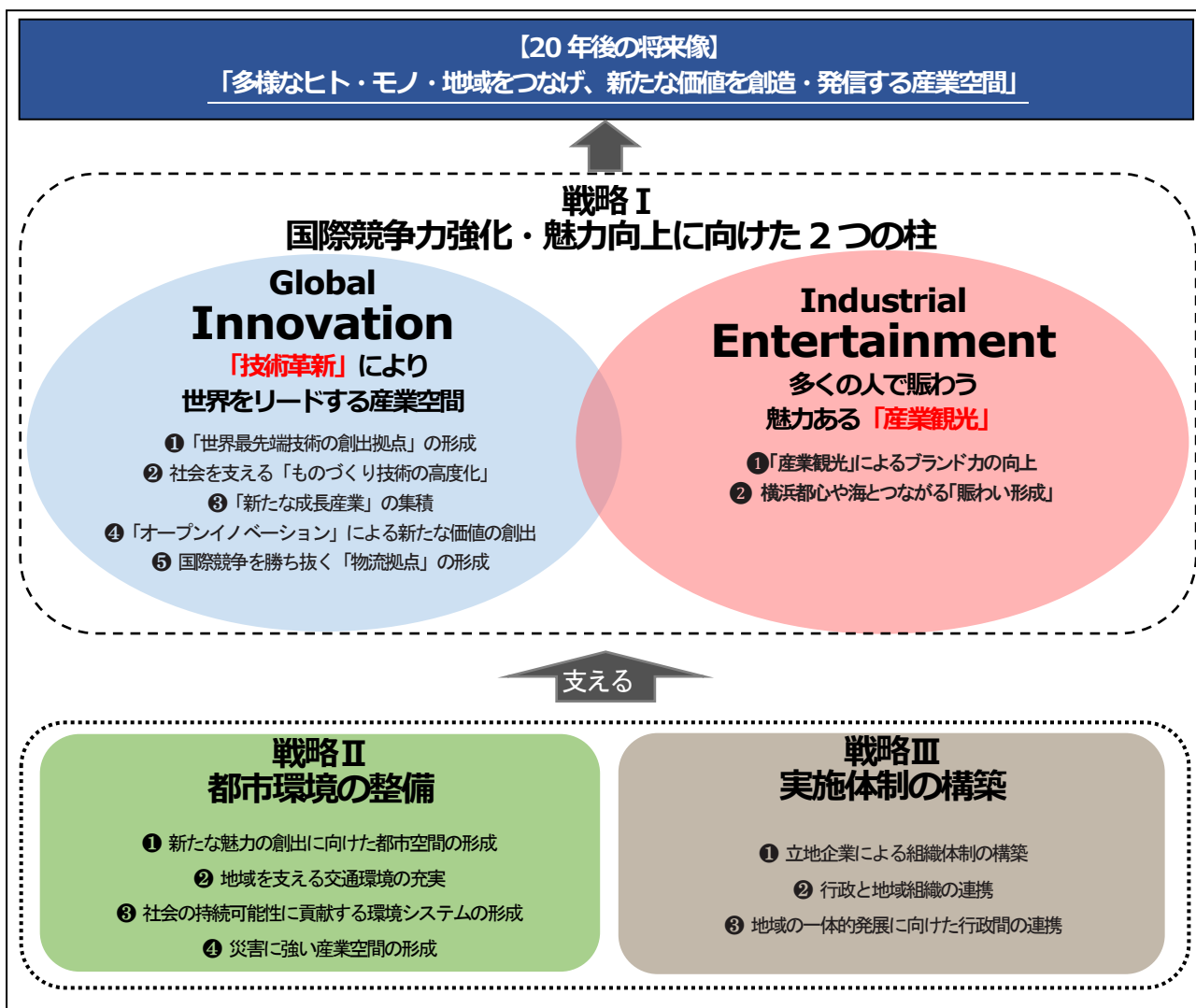
横浜市HP：<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/kikaku/keihin/master/>

(冊子を市役所市民情報センター・区役所広報相談係等で配布しておりますので、ご利用ください。)

■ マスタープランの概要

世界の産業構造や経済情勢が大きく変化するなか、京浜臨海部が国際的な産業拠点として今後も世界をリードするエリアとしていくために、「グローバルイノベーション」と「インダストリアルエンターテインメント」を戦略の柱に掲げ、あわせて都市環境の整備と実施体制の構築により、『多様なヒト・モノ・地域をつなげ、新たな価値を創造・発信する産業空間』を目指していきます。

【マスタープランの全体像】



■ エリアプラン

京浜臨海部再編整備マスタープランでは、地域全体の考え方に基づく戦略を踏まえつつ、地区ごとの特性を把握した取組を行っていくことで、各地区の発展を京浜臨海部全体の将来像実現につなげていきます。

※エリアプラン策定地区： 「末広町地区」 「新子安地区」 「山内ふ頭周辺地区」

■ 問合せ先／ 横浜市都市整備局企画部企画課 電話：（045）671-2022



# かながわの京浜臨海部 ～県内工業・理数系高校生体験・交流会～について

京浜臨海部再編整備協議会では、平成30年8月8日（水）と8月10日（金）に「かながわの京浜臨海部～県内工業・理数系高校生体験・交流会～」を開催しました。

本事業は、県内の工業・理数系教育を重点的に受ける高校生の皆様を対象に、京浜臨海部の企業・研究所やそれを支える優れた人材や技術・技能への関心・理解等を深めていただくため、企業見学及び社員・研究員の方との意見交換などを行う体験・交流会を実施しました。

本事業を通じて、県内工業系高等学校等と京浜臨海部の企業等によるキャリア教育の推進の一助となることを目指しています。



昭和電工株式会社



東芝エネルギーシステムズ株式会社 京浜事業所



国立医薬品食品衛生研究所



ライフィノベーションセンター

## 【参加・協力いただいた高等学校（五十音順）】

神奈川県立小田原城北工業高等学校	神奈川県立神奈川工業高等学校	神奈川県立川崎工科高等学校
神奈川県立平塚工科高等学校	神奈川県立藤沢工科高等学校	学校法人三浦学苑三浦学苑高等学校
神奈川県立向の岡工業高等学校	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	

## 【協力いただいた企業等（五十音順）】

一般社団法人日本薬理評価機構（PEIJ）	株式会社バイオテック・ラボ	
川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター（片岡・喜納ラボ）		経済産業省製造産業局素材産業課
国立医薬品食品衛生研究所	国立研究開発法人理化学研究所	公益財団法人実験動物中央研究所
昭和電工株式会社	東京工業大学	東芝エネルギーシステムズ株式会社

## 【8月8日（水） 企業交流コース】

社内は、参加者アンケートからご意見を抜粋しました。

（行程）

集合   解散  
川崎駅 == 昭和電工(株) == 東芝エネルギーシステムズ(株) == 横浜駅



リサイクルセンターでの説明



先輩社員との交流会



アンモニアの原料



先輩社員と一緒に食べたカツカレー

### 【先輩社員との交流について】

（昭和電工(株)）

- ・優しい自分たちの先輩方が、わかりやすく説明して下さいだったので、楽しく学ぶことができた。
- ・年齢が近い人の意見が聞けて良かった。
- ・就職活動に、今日聞いた話を活かしていきたいです。
- ・先輩達の話聞いて、自分も資格をたくさん取ろうと思いました。
- ・学生と社会人の違いが少しわかり、コミュニケーション力が大事なのがあった。
- ・気になることが聞けて良かった。

### 【先輩社員との交流について】

（東芝エネルギーシステムズ(株)）

- ・この夏休みで、自分がしなければならないことが見えた気がします。いい経験になりました。
- ・働くにあたって、何が大切なのか、よくわかりました。
- ・自分と同じ、電気の人のお話を聞くことができて良かった。
- ・先輩達に、たくさんのお話を聞いて、すごく良い勉強になりました。
- ・ルールを守れば、自らだけでなく、他の人も、まきこまれず、被災しないことがわかった。



危険体感訓練（感電）



危険体感訓練（ハンマー）



訓練生が作成した課題作品の展示



先輩社員との交流会

### 京浜臨海部ってどんなところ？

（参加前）

- ・神奈川県工業の中心的存在。
- ・重厚長大産業を中心とした工業地帯。
- ・環境対策がされているイメージがある。
- ・特に知らなかった。




（参加後）

- ・実際に京浜臨海部に行ってみて、工場のパイプがかなり複雑に交わり合っていて、ロマンがある。
- ・「ご安全に」という挨拶をしており、どこでも安全に気を使っていることがわかりました。
- ・両社とも、世界に誇れる技術を持っていることに驚いた。
- ・インターネットで調べてみて、すごく大きいなと思っていたけれど、実際に見てみると、想像以上に大きくてびっくりしました。
- ・一つのテーマで幾つもの製品、物質を生産し、副産物でさえ、限りなく無駄を出さないでいるのが、すごいと思いました。



## 【8月10日（金） 研究所交流コース】

（行程）

集合    解散  
 神奈川県庁 == 理化学研究所 == キングスカイフロント ===== 川崎駅  
 Aコース 国立医薬品食品衛生研究所  
 Bコース (一社)日本薬理評価機構、(株)バイオテック・ラボ



神奈川県庁で集合



理化学研究所にて研究者の講演



キングスカイフロントの概要説明



国立医薬品食品衛生研究所の概要説明



日本薬理評価機構によるミニセミナー



バイオテック・ラボのレンタル実験室



研究者との交流会



研究者との交流会



研究者との交流会

### 京浜臨海部について、気づいたこと・感じたこと

- ・京浜臨海部は、日本になくてはならない産業地帯であることがわかりました。
- ・工場ばかりだと思っていたが、実験設備も整っていることがわかった。
- ・施設も整っており、研究者達の絶好の環境だなと感じました。ためになる話や、自分が知らない事もわかりやすく説明してくれて、とてもためになりました。
- ・もともと、あまり教科書で習ったことしかイメージがなかったので、思っていたよりも、周りの方々の優しい対応や、周りの研究所の方々の配慮に驚きました。
- ・未来的で、研究者にとって働きやすい所だと思いました。

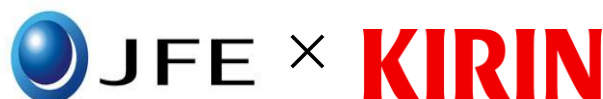
### 研究者との交流会について

- ・現場の声を聞くことができた。これから、必ず使われるであろうようなことを、新たに知ることができた。
- ・実際の研究の様子を聞いたことが、とても良かった。
- ・研究者の1日を知ることができて良かったです。
- ・先輩からの意見は、自分達の見本となるので、アドバイスされて良かった。
- ・進路で気になることを、現場で活躍する研究者に、直で聞くことができ、良い体験となった。
- ・研究者の方のお話は、目からうろこだったり、自分の将来を考える上で、とても役に立つので、有意義な時間でした。

■ 問合せ先／ 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 折原 電話：(045) 210-3255




## 京浜臨海部で“ものづくり”を100年続けている工場を見学しよう 「麒麟ビール」×「JFEエンジニアリング」大人の工場見学会

麒麟ビール株式会社横浜工場と JFE エンジニアリング株式会社鶴見製作所は、『「麒麟ビール」×「JFEエンジニアリング」大人の夜の工場見学会』を11月16日（金）に開催します。



開催日時 2018年11月16日（金）15時から  
定員 20名  
対象 20歳以上 ※ご応募一組につき2名～最大4名まで  
参加費 無料  
(集合までと解散以降の交通費・試飲時の3杯目以降とお食事代はお客様負担)  
申込方法 10月25日（木）以降、インターネットで応募ください  
[www.kirin.co.jp/entertainment/factory/yokohama](http://www.kirin.co.jp/entertainment/factory/yokohama)

### 内 容

15:00 京急鶴見駅に集合  
<バスで移動>   
15:15～15:50 JFEエンジニアリング鶴見製作所見学【トンネルを掘る機会（掘削機）の見学】  
<バスで移動>   
16:15～17:15 麒麟ビール横浜工場 【ビール工場見学】  
<徒歩で移動>   
17:25～ スプリングバレーブルワリー横浜 【試飲会】  
※ビール2杯までは麒麟ビールから提供します。  
3杯目以降とお食事代はお客様負担

横浜市鶴見区・神奈川県及び川崎市海側エリアに広がる京浜臨海部は、長きに渡り日本の経済を牽引してきた工業地帯であり、高度なものづくり技術や世界有数の環境技術をもつ企業が集積しています。現在も県全体の製造品出荷額の25%以上を京浜臨海部が占めており、神奈川県にとって非常に重要なエリアです。

当ツアーは、麒麟ビールと JFE エンジニアリングの両社が、重厚長大の時代を経て現在のものづくりに繋がっている京浜臨海部の歴史が、同エリアにとっての財産だということを多くの方に知っていただくために企画したものです。当日は、京浜臨海部の歴史を振り返りながら、ものづくりの楽しさを体感いただけます。

■ 問合せ先/麒麟ビール株式会社 横浜工場広報担当 電話：(045) 503-8255  
JFE エンジニアリング株式会社 電話：(045) 505-1926



「京浜工業地帯の父」と呼ばれている実業家 浅野總一郎氏は有名ですが、浅野氏の銅像が複数あるのをご存知でしょうか。浅野總一郎氏の銅像をめくりながら、京浜臨海部の企業等をご紹介します。

### 【浅野学園】

浅野学園は、浅野中学校・高等学校という、学業×部活動×学校行事の三本柱を軸とした文武両道の教育を行う、中高一貫の男子校で、1920（大正9）年、実業家・浅野總一郎翁によって創立されました。

当初はアメリカのゲイリー・システムという勤労主義を導入し、学内の一角に設けられた工場による科学技術教育と実用的な語学教育を特色としていました。戦後まもなく中高一貫体制を確立し、70年代から進学実績を飛躍的に伸ばし、現在では神奈川県有数の男子進学校として高い評価を得ています。

広大な校地の半分が通称「銅像山」の森林という恵まれた自然環境と、充実した教育施設の中で、生徒たちは明るく自由な学園生活を送っています。



↑ 銅像を拡大した写真

↓ 浅野總一郎翁関係事業（一部抜粋）



銅像は、銅像山の小高い丘の頂上にあり、ブーツを履き、東京湾の埋立図を片手に、開発を手掛けた京浜工業地帯を見守っています。

初代銅像は、高村光雲の高弟、本山白雲により、1924（大正13）年に建立されましたが、太平洋戦争の中、昭和18年に供出されました。

現在の2代目銅像は、昭和33年に再建されました。高さ4.94メートル、重さ2.3トン、初代銅像の原型通りに慶寺丹長が制作しました。

銅像の奥には、「浅野總一郎翁関係事業」が刻まれた石碑があります。セメント事業、製鉄・造船事業、海運・陸運事業、埋築地所事業、石油事業、鉱山事業、貿易事業、電気事業、文化事業、銀行業、其他の事業の11事業57企業等の名前が刻まれています。

※ 銅像左手に持っているのは『東京湾埋立図』と伝えられています。

校訓の1つは校歌の中に謳われています。校歌2番の歌詞にある「九転十起」です。浅野總一郎翁の建学の精神を象徴するものが、この〈九転十起〉という志です。さらに3番の歌詞に「為すべき務めを為したる果てに」というフレーズがありますが、〈九転十起〉の志を持って〈為すべき務めを為し遂げる〉、この精神が2020年に100周年を迎える浅野学園の建学の精神です。大きな目標は一度で成し遂げることは難しい。失敗を恐れず、努力を重ねて目的を達成する。この〈変化〉と〈多様性〉に富む社会を生き抜いていくのに、「九転十起」の精神は何よりも必要な姿勢であると考えられています。

### 校歌

作詞：高野 辰之、作曲：信時 潔

- 一、 南に海京西には高嶺（たかね）  
天与の眺め尽きせぬこの地  
飽くまで明るき子安の里に  
礎（いしずえ）かたき我等の学校  
我等の踏む丘その名打越  
我等は百難打越し行かん
- 二、 我等の仰ぐは寿像（じゅそう）の姿  
強健の身体力行（りょっこう）の態度  
九転十起にわれ世を経んと  
額（ひたい）に示す自立の心  
我等の踏む丘その名打越  
我等は百難打越し行かん
- 三、 我等の戴（いただ）く勝利の冠（かむり）  
勝利は道を正しく進み  
為すべき務めを為したる果に  
身を立て道を尽くして後に  
我等の踏む丘その名打越  
我等は百難打越し行かん

■ 問合せ先／ 学校法人浅野学園 電話：（045）421-3281

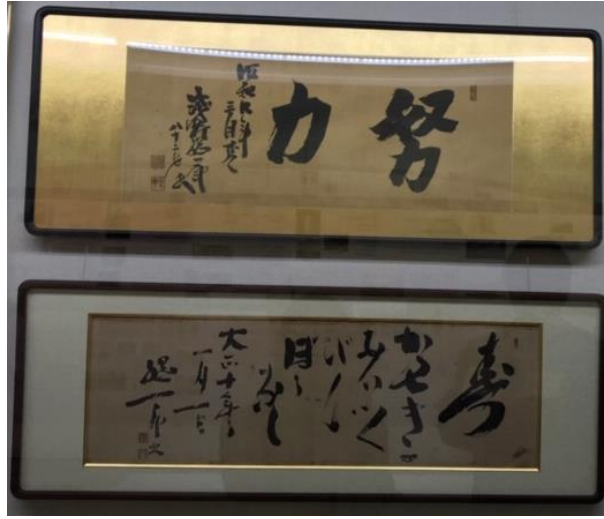


## 浅野学園の史料室について

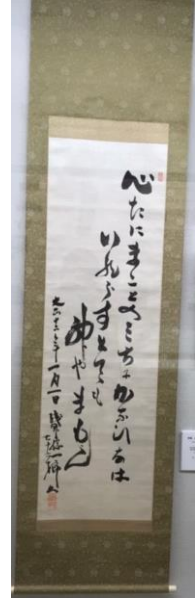
浅野学園の史料室には、創立者である浅野總一郎翁の自筆の書など、数々の貴重な史料が展示されています。「九転十起」と表現されることが多い浅野總一郎翁ですが、実際に残っているご本人の言葉や書では、「努力」、「努力と度胸」、「寿」、「稼ぐに追いつく貧乏なし」が多く使われています。



本山 白雲 作  
「創立者 浅野總一郎翁」



浅野總一郎翁の書



■ 問合せ先 / 学校法人浅野学園 電話：(045) 421-3281

## 臨海コンビナート都市連携シンポジウム2018 「スマートコンビナートを目指して」について

首都圏コンビナート地域は、引き続き、日本経済を牽引していくため、国際競争力の強化、安全・安心の確保、地球温暖化防止等への一層の対応、事業環境の大きな変化への対応など、緊急の課題に直面しています。このシンポジウムでは、更なる連携、水素社会への対応、人材の確保と育成、そして、IoT・ビックデータ・AI の活用などについて議論を深め、新しいコンビナート、スマートコンビナートの構築に向けて、新時代への道を探ります。

臨海コンビナート都市連携シンポジウムは、2010年に第1回を開催して以来、今年で9回目を迎えます。今回は、山口大学大学院の稲葉和也教授に基調講演をしていただき、鹿島、京葉、京浜の各コンビナートの代表、そして、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合の代表がパネルディスカッションを行います。

日時 10月30日(火) 13:30から17:00(終了後 交流会)

場所 川崎市産業振興会館1階大ホール(川崎市幸区堀川町66-20)

定員 先着250名(事前申込み制)

参加費 無料 交流会参加費は2,000円

詳細は、下記ホームページをご覧ください。

(ホームページ) <http://www.lcie-npo.jp/>

■ 問合せ先 / NPO 法人 産業・環境創造リエゾンセンター 電話：(044) 522-5455

編集・発行・問合せ先

神奈川県政策局自治振興部地域政策課 担当：折原 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 (045)210-3255 ファクシミリ (045)210-8837

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/div/0602/>

(お問合せは、こちらのホームページ下部の「お問合せフォーム」からお願います。)